

患者さんへのコミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような機器があるのかわからない。－10
2. 機器の使い方がわからない。－9
3. 患者さんがコミュニケーションに積極的でない。－3
4. 患者さんのご家族がコミュニケーションに積極的でない。－2
5. 時間がない・時間がかかる。－4
6. その他－4
 - ・患者様の視力低下に対する対応策
 - ・どのように導入すればいいのかわからない。
 - ・SCD、MSA 等で、失調+開眼天行のある方の Yes/No 以上のコミュニケーション（タイミングが取れない）

意思伝達装置の認知度

講座を受ける「前」に、意思伝達装置についてどれくらい知っていたのかを教えてください。

	知っていた使ったこともあった	知っていたが使ったことはなかった	全く知らなかった
透明文字盤	13	3	0
口文字	3	11	2
レッツチャット	8	5	2
伝の心	12	3	1
オペレートナビ	3	6	7
Hearty Ladder	0	4	10
スイッチの適合	9	3	2
視線入力	3	8	3
iPad のスイッチ操作	0	6	8

講座についての理解度

どれくらい理解できたかを教えてください。

	とてもよく理解できた。人に教えられる。	まだ練習が必要だが、理解できた。	どちらともいえない。	まだ不安がある。自信がない。	まったく理解できなかった。
透明文字盤	4	8	0	0	0
口文字	0	6	3	3	0
レッツチャット	2	8	1	1	0
伝の心	3	8	1	0	0
オペレートナビ	0	5	4	1	1
Hearty Ladder	0	7	1	2	0
スイッチの適合	0	12	1	0	0
視線入力	0	9	4	0	0
iPadのスイッチ操作	0	6	6	1	0

【アンケート集約】

受講しての感想、聞いたかったことなどをお書きください。

- ・実際に患者様の立場で文字盤を使ったことがなかったので、難しさを実感しました。良い機会となりました。
- ・とても勉強になりました。知らないことが多すぎると考えさせられ、どんどん進んでいく分野なので、アンテナを張っていないと実感しました。
- ・ITの活用支援を今年度から担当させていただいていますが、機器を勉強しないと、つい機器ばかりに注目していることに気がつきました。文字盤に苦手意識がありますが、がんばろうと思います。
- ・患者の家族です。パソコンを使ったことのない主人が、ものすごく短い間にマスターして、メールやインターネットができるようになり、次に進むことはできないのだろうかと思っていたのですが、まだまだ活用する幅があることを知りました。主人が知ったらワクワクするでしょうね。
- ・工夫された文字盤がよかったと…。
- ・役立つ情報がたくさんあった。
- ・機器を実際に試せたことがとてもよかったです。職場には機器がなく、患者さんに導入するにも困難だったので。
- ・レッツチャットや伝の心等、今まで使っていた機器も知らない機能がありました。積極的に活用して、患者様の可能性を広げられるように努力します。

- ・機器の導入の方法が難しいと感じた。
- ・Hearty ladder は実際に使ってみたくて思いました。スイッチの実例もたくさんあり、とても参考になりました。導入していく中でわからない点もこれからたくさんあると思うので、また徳島で研修会が開催されることを願っています。

最初に答えていただいた困っていることは、今回の講座を受けて解決しそうですか？

1. 解決すると思う-13

→参考になったプログラムはどれですか？

- ・損傷や ALS 等、重度な方が多く、ナースコールやブザーの工夫に困っていました。スイッチの適合などは様々なことに応用ができそうでとても参考になりました。
- ・すべて
- ・1日目が受講できなかったのですが、機器の話はあまり聞けなかったのですが、2日目の内容も新しい情報が得られてよかったです。
- ・文字盤
- ・実際にスイッチ作成ができた。
- ・iPad の操作
- ・文字盤の使い方、コミュニケーションエイドの実践
- ・透明文字盤の使用法やレッツチャット、伝の心の使用方法
- ・個人的な相談で、試してみたいアイデアをいただきました。
- ・レッツチャットとスイッチの適合プログラム
- ・スイッチの適合、無料アプリの文字盤
- ・最新機器の紹介、スイッチの実例

2. 解決しないと思う-1

→どのようなプログラムがあればよかったですか？

- ・iPad だけでなく、タブレット全般での使用など。その違いがわかればよかったですと思います。
- ・スイッチの適合

以上